

平成 29 年度公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

※事業名末尾の（ ）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 情報収集・提供事業

■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営（2-7）

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

ア 利用時間 午前 10 時～午後 8 時（開館日）

イ 利用対象 小学校 4 年生以上（小学校 3 年生以下は保護者同伴）

ウ 複 写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。

白黒コピー（B5～A3）1 枚 10 円

カラーコピー（B5～B4）1 枚 50 円（A3）1 枚 80 円

エ 閲覧等 原則閲覧利用とし、学校等公的団体へは貸出しを行った。

オ 利用者 11,444 人

カ 閲覧件数 図書等（2,165 件）ビデオ（62 件）CD（14 件）DVD（16 件）パソコン（378 件）

キ 閲覧図書上位 1 児童向け図書

2 ワールド

3 国際交流

4 海外生活

5 ヨーロッパ

ク 蔵書数

書 籍	16,580 冊	
	和図書	13,865 冊
	外国語図書	2,715 冊
新 聞 （日刊・週刊など）	18 紙	
	英語	1 紙
	韓国・朝鮮語	1 紙
	中国語	3 紙
	日本語	11 紙
	フィリピン語	1 紙
	日本語・中国語	1 紙
情 報 誌	39 誌	
	和雑誌	25 誌
	外国語雑誌	14 誌
	（うち在日外国人向け生活情報誌）9 誌	
視聴覚資料		672 巻
新聞スクラップ		6 タイトル

（平成 30 年 3 月末現在）

(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

ア 外国人への情報提供 (情報ロビー)

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

イ 国際交流に係る資料や作品の展示 (情報ロビー)

国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。10月12日(木)の国際センター開館記念日には、「アート」をテーマとしてセンターに収蔵してある絵画や世界の民芸品の解説を交えながら、当センターを紹介する「特別な日の・特別なツアー」を初めて開催した。

(参加者) 10名

ウ 姉妹・友好都市等ギャラリーの活用

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。また、市民ミュージアムと連携して「外国人が見たニッポン～明治の日本人～展」を1月23日(火)～2月25日(日)に開催した。

(来場者) 約300名

エ 国際交流に関わる情報提供 (談話ロビー、プロムナード)

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

オ 国際交流に関わる情報交換 (談話ロビー)

市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

カ 各国紹介パネルの展示 (情報ロビー、プロムナード)

在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際色豊かな環境づくりを行った。

キ インターネットコーナー (受付前)

無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。インターネットに接続したパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 午前9時30分～午後8時 (施設点検日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ

(利用料) 無料。1回あたり30分まで

(利用件数) 716件

ク 地域との連携

第24回川崎ジュニア文化賞の受賞作品を9月2日(土)～26日(火)に展示し、地域社会の連携を図った。

(来場者) 約300名、(アンケート回答数) 21名

ケ 市民および外国人への国際理解促進

第19回カナガワビエンナーレ国際児童画展～国境を越えたアートCross - Border Art～川崎巡回展を12月6日(水)～17日(日)に開催し、市民および外国人に国際理解の促進や芸術的関心を深める機会を提供した。

(来場者) 1,114名、(ボランティア数) 62名

(3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビーでの催事・展示 (2-7)

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や

絵画などの展示を無料で行った。

ア 情報ロビー

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	川崎市・リエカ市（クロアチア）姉妹都市提携 40 周年記念展示	（公財）川崎市国際交協会	4 月 1 日～4 月 30 日
2	フットメザ講習会～紹介とやり方展示～	フットメザ・ジャパン	4 月 24 日、5 月 21 日 6 月 18 日、7 月 16 日
3	写真展示	フォトサークル横浜山手	5 月 17 日～5 月 23 日
4	茶室「木月庵」を大切に作る会あゆみ展	川崎国際交流茶道研究会	9 月 16 日～9 月 17 日

イ 展示ロビー

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	成田山競書大会副作品展示	船の会書道教室	6 月 6 日～6 月 11 日
2	写真展（風景写真等）	井上圭一郎	8 月 17 日～8 月 20 日
3	第 4 回子供絵画コンクール in サラエボ入賞作品展	イピル・イピルの会	8 月 21 日～8 月 27 日
4	川崎ジュニア文化賞 作品展示	川崎信用金庫	9 月 2 日～9 月 27 日
5	ハワイアンキルト展示会	ナニロア・カパクイキ	9 月 29 日～10 月 2 日
6	書道作品展	日曜書道サークル	10 月 13 日～10 月 15 日
7	水墨画展示会	五墨会	10 月 24 日～10 月 29 日
8	書道作品展	森奈緒子	11 月 6 日～11 月 12 日
9	タブノキ小作品展	大城なつき	11 月 24 日～11 月 26 日
10	第 19 回カナガワビエンナーレ国際児童画展 川崎巡回展	川崎市国際交流センター （指定管理者：（公財）川崎市国際交流協会）	12 月 6 日～12 月 17 日
11	「えとパーティー」作品展	アトリエ遊	1 月 13～1 月 14 日
12	習字作品展	日本習字葉菜習字教室	1 月 26 日～1 月 28 日

ウ 談話ロビー

	開催内容	出演者	開催日	参加人数
1	日本と韓国音楽高校生による「響けよ歌声」	ソウル市、城南（ソナム）市、富川市の芸術高校生と国立音楽大学付属高校生が交流コンサートを行った。	9 月 2 日（土） 午後 2 時～ 3 時 15 分	95 名

II 広報出版事業

■2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行（2-8）

ア 「国際交流センターだより」の発行

（目的）国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。

(発行) 年間 10 回 (月刊、7・8 月号、2・3 月号は合併号)

(部数) 5,000 部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターちょこっとだより、施設点検日、休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

イ かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発行) 年 4 回 (季刊)

(部数) 5,000 部/回

(編集等) 協会登録のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

(2) センターホームページの運営 (2-8)

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人の国際交流に関する多様な情報を提供した。月 1 回程度 WEB 刷新会議を開催し、より見やすいホームページとなるよう検討を行い、順次ウェブ・アクセシビリティに適合した記載、記述となるよう変更することとした。また、「センターについて」のページを英語と中国語でも表記するなど、多言語化を進めた。

「多言語ブログ」(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、やさしい日本語)によって、協会事業の広報及び川崎市近隣の生活情報等を発信した。

ホームページ URL <http://www.kian.or.jp/>

ア 川崎市国際交流協会について

国際交流協会案内 協会のイベント及び講座 協会が後援するイベント
ニュースレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度

イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報
外国人留学生への助成制度 7 言語での川崎市内のお知らせ

ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

エ 川崎の魅力発信

「外国人が見た『カワサキ』フォトコンテスト」応募作品を掲載し、新たな川崎の魅力を発信

オ その他

ボランティア活動 かわさき国際交流民間団体協議会 身近な国際協力
多言語ブログ 申請書様式 Facebook (フェイスブック)
(アクセス件数) 118,219 件 (1 日あたり 322 アクセス)
(更新数) 2,653 回

(3) 各種メディアの活用 (2-8)

ア 「かわさき FM」の活用

「アクセスかわさき」等生放送番組に電話による出演などで、センター事業の広報を行った。スポンサーとなっている「世界の国からこんにちは」の番組では、川崎市内施設で学ぶ日本語講座受講生等が出演し、自国での経験や外国の新鮮な情報を届けた。

(出演日時) 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

(場所) 武蔵小杉タワープレイス 1 階

(参加者) 各回 2～3 名の外国人 (中国・ベトナム等) 市民とオブザーバー (日本) 1 名

イ 「暮らしの窓」の活用

センターの指定管理者共同事業体の構成員が管理するマンションへ、定期的に配布をしている情報誌「暮らしの窓」に、センターのイベント情報、施設情報を掲載したチラシを挟み込み、センター事業の広報を行った。

(配布時期) 平成 29 年 5 月

(配布先) 中原区、宮前区、幸区、高津区内のマンション 211 か所 12,882 戸

ウ 「Facebook」(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

毎週 4 回以上、センターのイベントや講座及びセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて日本語と「やさしいにほんご」を使用した。

エ 川崎市のソーシャル・ネット・ワーキング・サービスの活用

(ア) 協働・連携ポータルサイト「つながっど KAWASAKI」

(イ) 「かわさきイベントアプリ」

(ウ) なかはらメディアネットワーク

(エ) かわさきの生涯学習情報 (川崎市生涯学習ブラザ)

(オ) かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」ほか

Ⅲ 講座・研修事業

■3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催 (2-1)

ア 講座

(ア) 午前コース (午前 9 時 50 分～11 時 50 分) 年間 3 期、週 2 回 (火・金)

併せて、保育 (受講生の 1 歳以上の子どもを預かる) も実施

1 学期: 4 月 18 日～7 月 7 日 (22 回)、2 学期: 9 月 19 日～12 月 5 日 (22 回)

3 学期: 1 月 16 日～3 月 13 日 (17 回)

(イ) 夜間コース (午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分) 年間 3 期、週 1 回 (水)

1 学期: 4 月 19 日～7 月 12 日 (12 回)、2 学期: 9 月 6 日～12 月 13 日 (14 回)

3 学期: 1 月 10 日～3 月 7 日 (9 回)

イ 講師: 協会登録の日本語講座ボランティア

ウ 活動ボランティア: 協会登録の保育ボランティア (保育)、一般ボランティア (受付)

エ 場所: 川崎市国際交流センター 会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム、
団体活動ルーム

オ 学習者：467名（38の国・地域）

(2) 特別講座(2-1)

学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

ア 手工芸講座 6月6日（火）

学習者14名、講師4名 計18名（午前コース、夜コース）

イ けん玉体験 6月20日（火）

学習者58名、講師2名、日本語ボランティア10名 計70名（午前コース）

ウ 七夕飾り：短冊の書き方と飾りの作り方 6月28日（水）

学習者36名、日本語ボランティア11名 計47名（夜間コース）

エ 七夕飾り：短冊の書き方と飾りの作り方 6月30日（金）

学習者56名、日本語ボランティア12名、子ども10名 計78名（午前コース）

オ 市内見学（東芝科学館）10月20日（金）

学習者等44名、子ども9名、日本語ボランティア12名 計65名（午前コース）

カ 殺陣と甲冑の着付け体験 11月22日（水）

学習者33名、子ども1名、講師11名、日本語ボランティア10名 計55名（夜間コース）

キ 手工芸講座 11月24日（金）

学習者28名、講師3名 計31名（午前コース）

ク 課外活動 梅まつり（大倉山公園梅林）2月18日（日）

学習者等20名 日本語ボランティア8名 計28名（午前コース、夜間コース）

ケ 防災訓練 2月16日（金）

学習者33名、日本語ボランティア11名、保育ボランティア3名、受付ボランティア1名
子ども9名、職員23名、中原消防署、消防団他 参加者計250名

コ 特別講座 カラオケ大会 3月6日（火）

学習者6名、ボランティア6名 計12名（午前コース）

(3) 研修会(2-1)

ア 日本語講座ボランティアブラッシュアップ研修

協会登録日本語ボランティアを対象に研修を開催した。

（ア）テーマ「外国人市民のための日本語と進学希望者のための日本語教育はどう違うのか？」

（イ）日時 平成29年10月28日（土）午後1時～4時

（ウ）講師 明海大学 西川寛之 准教授

（エ）場所 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

（オ）参加者28名

イ 日本語講座ボランティア登録事前研修

協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催した。

（日時）平成29年10月20日、27日、11月10日、17日、14日、12月1日、8日、15日
平成30年1月12日、19日（金）午後1時30分～3時30分

（回数）全10回

（講師）東京外国語大学多言語多文化教育研究センターフェロー、
協会 日本語講座ボランティア講師

（場所）川崎市国際交流センター

（内容）ボランティアの心得、川崎の識字教育のこれまでの歩みの紹介

当協会のオリジナルテキスト「日本語 160 時間」上・下巻を使って、カリキュラムや授業の進め方の模擬授業を学んだあと、実習を中心に学習。

(参加者) 7 名 (協会日本語講座ボランティア登録希望者)

■4 国際文化理解講座事業 グローバルセミナー

(1) グローバルセミナー国際文化理解講座 (2-3)

現在、世界には、15 億人以上の人々がイスラームを信仰していると言われている。イスラーム、ハラールなどの言葉をよく見聞きするようになり、日本を訪れるムスリムの観光客や日本に住むムスリムの人々も増えている。このセミナーでは、イスラーム文化、ムスリムの人々について、もっと身近に理解を深める機会とした。

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	7 月 8 日	「イスラームって何？」	元東京工業大学特任講師	40 名
2	7 月 22 日	日本に暮らすムスリム	大学講師	38 名
特別講座	7 月 29 日	モスクに行ってみよう！ 東京ジャーミイ・トルコ文化センター訪問		35 名

(2) 国際文化理解講座 (2-3)

2017 年は、日・アイルランド外交関係樹立 60 周年を記念して、アイルランドの音楽とダンスを通して、アイルランドを知る講座を開催。

(日時) 平成 29 年 9 月 9 日、16 日、10 月 7 日 (土) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター レクリエーションルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	9 月 9 日	アイルランドと音楽のお話(生演奏あり)とアイルランドのダンスワークショップ(ツークハンド・ダンス)	アイリッシュ・ハープ奏者 インストラクター	35 名
2	9 月 16 日	アイルランドのダンスの紹介とダンスワークショップ(ケーリー・ダンス、セット・ダンス)	インストラクター、 シャン・ノース・ダンサー	29 名
3	10 月 7 日	アイルランドのダンスワークショップ(シャン・ノース・ダンス)	シャン・ノース・ダンサー	33 名

■5 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生を推進するため、外国語(英語、中国語)による文化や課題などの紹介を通して、国際理解を深めた。

(1) 外国語による国際理解講座(2-2)

ア 英語による国際理解講座(春季)

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対

象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

(日時) 平成 29 年 5 月 13 日 (土)、5 月 20 日 (土)、6 月 10 日 (土) 午前 10 時 30 分～12 時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	5 月 13 日	“Understanding English through American History” 「アメリカにおける英語の歴史」	川崎市国際交流員	43 名
2	5 月 20 日	“‘SHINTO’ from the Shore” 「渚から見た神道について」	協会国際理解教育講師	39 名
3	6 月 10 日	“Point of View of Nomadic People” 「遊牧民の考え方」	協会国際理解教育講師	37 名

イ 英語による国際理解講座 (秋季)

(日時) 平成 29 年 10 月 14 日 (土)、10 月 21 日 (土)、10 月 28 日 (土) 午前 10 時 30 分～12 時

(場所) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10 月 14 日	“Getting to know Islam: The basics and life of muslims in Japan” 「イスラーム教を知ろう！」	元大学特任講師	38 名
2	10 月 21 日	“Panem et circenses (bread and circuses) - The italian art of entertainment” 「パンと見世物」イタリアのエンターテイメント芸術	イタリア文化センター代表	36 名
3	10 月 28 日	“India explained: like you grew up there” 「地理と歴史を通じて理解を深めるインド」	企業研究者	32 名

ウ 韓国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の韓国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。

(日時) 平成 29 年 11 月 25 日 (土) 午前 10 時～12 時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 韓国社会の衣・食・住

(講師) 韓国語講師、詩人

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11 月 25 日	韓国社会の衣・食・住	韓国語講師・詩人	31 名

エ 中国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。

中国の水墨画や台湾の家庭料理等について、講義と文化の体験や交流を行った。

(日時) 平成 29 年 11 月 25 日 (土) 午後 2 時～4 時

12 月 16 日 (土) 午前 10 時～12 時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム、料理室

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11月25日	体験！中国水墨画の世界	水墨画家・中国語講師	17名
2	12月16日	台湾の家庭料理 魯肉飯と蚵仔煎	台湾菓子製造販売会社代表	28名

■6 ボランティア養成事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー(2-2)

日常会話が可能な(中学3年生)レベルの英語力で、来日外国人を案内・交流したいと考えている人材を対象に研修を開催した。

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	1月21日(日) 午前10時~12時	案内ボランティアとしての心得	神奈川 SGG クラブ役員兼ガイド 支援グループ GL	30名
2	1月21日(日) 午後1時~3時	外国人が、街中で困った時に案内 することを学ぶ	協会国際理解教育講師	29名
3	2月4日(日) 午前10時~12時	やさしい英語(英語を使わない方 法も)	協会国際理解教育講師	26名
4	2月4日(日) 午後1時~3時	テーマ別ワークショップ 外国人と街中に繰り出し、案内を 体験する	協会国際理解教育講師	26名

(2) 災害時通訳ボランティア整備セミナー(2-2)

川崎の外国人市民と来川の外国人観光客に対して、災害時に通訳ボランティアが支援するための心構えや川崎の現状等について、研修を開催した。

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	10月1日(日) 午前10時~12時	川崎市における外国住民と災害時 対応	NPO 多文化共生センター大阪 代表理事	42名
2	10月9日(祝・月) 午前10時~12時	災害時の語学サポーターの基本的 な技術、役割や心構え	スペイン語通訳翻訳者	28名
3	10月9日(祝・月) 午後1時~3時			26名

(3) プロボノによる多文化共生社会推進事業(2-2)

プロボノによるおもてなし英語講座 実践編

モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合と地域連携事業として、商店街のおもてなし(接客・接遇)力を高め、魅力的な川崎をアピールできるよう英語講座を開催した。

(日時) 2月8日(木) 午後2時30分~4時30分
2月15日(木) 午後2時30分~4時30分
2月22日(木) 午後2時30分~4時30分

(講師) 川崎市国際交流員

(内容)・おもてなしとは何か？

- ・英語、米語の違い(2020 東京オリンピック・パラリンピックで英国チームの事前キャンプ地に決定)
- ・道案内の英語、英語の数字に言い方に慣れよう。
- ・緊急時、災害用、事故などの際の英語の言い方
- ・日本食の料理名や料理内容を説明する。(かつ丼や親子丼)
- ・レストランでの注文の仕方(お客様とウェイター/ウエイトレス)
- ・お薦めする場合の should の使い方
- ・挨拶や食事の際の文化の違いなど

(参加者) 2月8日(木) 34名、2月15日(木) 29名、2月22日(木) 27名

(4) 多文化ソーシャルワーク入門講座(2-2)

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた、「かわさきパラムーブメント」の動きに連動し、多文化共生社会の推進をすすめるボランティア養成するため講座を開催した。

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	3月8日(木) 午後1時30分～ 3時30分	神奈川県が多文化共生の現状と課題	お茶の水女子大学名誉教授	21名
2	3月15日(木) 午後1時30分～ 3時30分	ふれあい館の実践から学ぶ コリアンタウンを歩く	社会福祉法人青丘社事務局	15名
3	3月22日(木) 午後1時30分～ 3時30分	外国につながる子どもの学習支援	多文化活動連絡協議会代表	17名
4	3月29日(木) 午後1時30分～ 3時30分	コミュニティ通訳とは？多文化共生社会のコミュニケーション	MIC かながわスタッフ	15名

IV 国際交流促進事業

■7 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチコンテスト(2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の学習者及び企業等の外国人研修生等を対象に、第23回日本語によるスピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と聴衆、関係者との交流も実施した。

(日時) 平成30年2月10日(土) 午後1時～4時30分

(場所) 川崎市国際交流センター・ホール 他

(内容) スピーチコンテスト、交流会

(主催等) 主催：川崎市国際交流センター

協賛：川崎ライオンズクラブ

協力：国際ソロプチミスト川崎、東京衣裳きもの学院

後援：川崎市教育委員会、川崎商工会議所、「音楽のまち・かわさき」推進協議会
(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学、専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の学習者等

(出場団体等) 7団体 9名

インドネシア	「もう独りぼっちなんかじゃない」	外語ビジネス専門学校
中国	「勇気をもってチャレンジしよう」	日本語クラブ土曜の会
インド	「日本のお年寄りのように長生きするために」	川崎市国際交流協会
カンボジア	「命の尊さを教えてくれた母」	専修大学
タイ	「日本の印象的なこと」	川崎市国際交流協会
ベトナム	「私と日本のファッション」	米山ファッションビジネス専門学校
中国	「情熱の火花―「職人精神」」	洗足学園音楽大学
中国	「日本に来て」	米山ファッションビジネス専門学校
ベトナム	「旅から学んだ優しい日本、冷たい日本」	あさおにほんごすいようクラス

(聴衆参加者) 197名

(交流会参加者) 70名

■8 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) 「多文化映画会」(2-2)

民間交流団体から提供された映像により、上映会を開催した。今年度は、映画「こんばんは」森康行監督作品を上映後、監督とのトークを行い、映画内容の理解を深めた。

(日時) 平成30年3月17日(土) 午後1時30分～4時

(場所) 川崎市国際交流センター・ホール

(内容) 映画「こんばんは」

山田洋次監督作品「学校」のモデルにもなった夜間中学校を、一年半にわたって記録した長篇ドキュメンタリー。

(参加者) 58名

(2) 世界の音楽会(魅惑の音楽紀行)(2-6)

「日本アイルランド 外交関係樹立60周年記念」を記念し、アイリッシュハーブとイリアンパイプスが奏でるアイルランド伝統音楽とアイリッシュ・ダンスのコンサートを開催した。

(日時) 平成29年10月14日(土) 午後2時～4時

(場所) 川崎市国際交流センター・ホール

(後援) 駐日アイルランド大使館、「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(内容) アイリッシュ・ハーブとイリアン・パイプスの演奏が奏でるアイルランド伝統音楽とアイリッシュ・ダンス

(出演) 寺本 圭佑(アイリッシュ・ハーブ奏者)、松阪 健(イリアン・パイプ奏者)

小西 高之、岡本 久実、小澤 りさ、熊谷 健一、佐野 咲、須藤 直人

田辺 貴子、遠井 友彦(アイリッシュ・ダンサー)

(参加者) 179名

(3) Winter Gathering & 留学生と交流する会 (2-3)

市内・周辺に住む留学生や外国人と交流を望む日本人とが、演奏・舞踊・体験等を通し国際交流できる場を提供し、国際文化の理解を深める。今年は当協会の修学奨励金受給者を中心とした留学生に参加を促した。留学生が帰国後、川崎の「親善大使」として川崎をアピールしてもらえよう記憶に残る体験交流会とした。

ア 第一部

(日時) 平成 29 年 11 月 11 日 (土) 午前 11 時 30 分～午後 1 時 15 分

(場所) 川崎市国際交流センター・レセプションルーム

(内容) 留学生による川崎についての発表 一次審査とパフォーマンス
留学生によるピアノの演奏
海老沢嘉佳ピアノリサイタル
最優秀・優秀賞チーム発表と表彰式
ランチ交流会

イ 第二部

(日時) 平成 29 年 11 月 11 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) 「外国人が見た『カワサキ』フォトコンテスト」表彰式
変面&ジャグリング
留学生によるピアノの演奏と民族舞踊
ロシアの舞踊
ラテンギター演奏と歌
(情報コーナー) 学習支援事業報告
行政書士の相談コーナー

(体験コーナー) 中国の切り紙

(世界のお茶とお菓子の試食・試飲コーナー) インド・中国・ブラジル・フィリピン

(参加者) 合計 252 名 (第一部 80 名、第二部 172 名)

(参加費) 無料

(4) 生活にほんごサロン (2-1)

日本語教室に通えない外国人市民に、日本語サロンサポーターを 1 対 1 でマッチングし、日本語を学ぶ機会を提供するとともに、相互文化について理解を深める多文化共生の場を提供した。

(日時) 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

(場所) 川崎市国際交流センター

(内容) ペアで相談し決定する

(期間) 1 年

(参加者) 延べ 97 名

(参加費) 無料

V 外国人相談事業

■9 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等を紹介した。川崎市国際交流センター、川崎市役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを原則毎月1回行った。

(1) センター相談事業(2-4)

川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日) 協会相談員 6名

英語	月・火・水・木・金・土	午前10時～12時、午後1時～4時
中国語	火・水・金	午前10時～12時、午後1時～4時
韓国・朝鮮語	火・木	午前10時～12時、午後1時～4時
ポルトガル語	火・金	午前10時～12時、午後1時～4時
スペイン語	火・水	午前10時～12時、午後1時～4時
タガログ語	火・水	午前10時～12時、午後1時～4時

(2) 相談実績

年間相談数 1,784件

- ・川崎市国際交流センター 1,731件
- ・川崎市役所 45件(再掲)
- ・麻生区役所 8件(再掲)

(3) 相談支援(2-4)

ア 専門相談・各種連絡会議等

(センター内)

行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 午後2時～4時)

(外部)

かながわ外国人居住支援NW運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、川崎市女性保護事業関係機関連絡会、川崎市DV被害者支援対策推進会議、中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会、関東ブロック国際化連絡協議会、神奈川県外国人相談機関連絡会、多言語支援センターNW会議、関弁連外国人相談担当者による懇談会、多文化フェスタさいわい(外国人相談ブースに相談員2名派遣 相談件数2件)、行政機関・同種団体・研究機関等からのアンケート、調査依頼への回答多数

イ 相談員研修

国際交流センター、川崎市役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングや研修を、毎月第4火曜日に川崎市国際交流センターで行った。さらに、川崎市国際交流センターで実施する研修や外部機関が実施する研修に相談員を参加させるなど、新しい情報の収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

第1回 平成29年7月25日(火)「川崎市におけるDVの相談状況」

第2回 平成29年10月24日(火)「日本の難民受け入れとRHQの支援事業」

第3回 平成30年2月27日(火)「相談員の自己認識と相談活動」

ウ 外部研修会等への派遣

外国籍県民相談員研修会

第1回 平成29年5月26日(金)「外国籍相談対応の基本と支援者のこころのケア」

- 第2回 平成29年7月21日(金)「外国籍県民の適正労働を考える」
 第4回 平成29年11月30日(木)「行政書士による在留資格の基本知識と多様な事例」
 関東弁護士会連合会管内外国人相談担当者による懇談会 平成29年12月22日(金)
 地域国際化協会職員国内研修8管理職向け 平成29年10月19日(木)
 神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会 平成30年2月9日(金)
 神奈川県外国人居住支援NW運営協議会 平成30年3月19日(月) その他

VI その他の事業

■10 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- (1) 観光ボランティア通訳セミナー (■6- (1) 再掲)
 (4) 多文化ソーシャルワーク入門講座 (■6- (4) 再掲)

■11 国際交流センター設置目的に沿った事業

(1) ナイター寄席 (自主事業) (2-3)

茶室「木月庵」の夜間利用を促進するため、日本古来の伝統文化をテーマにし、国際理解講座を開催した。

- (日時) 平成30年2月24日(土) 午後5時～7時
 (会場) 川崎市国際交流センター 茶室
 (内容) 小間席で呈茶及び広間で英語落語
 (出演) 立川志の春
 (協力) 川崎国際交流茶道研究会 (かわさき国際交流民間団体協議会)
 (参加者) 34名

(2) 地域資源を活用した外国籍の子ども支援 (自主事業)

ア 外国につながる子どもの学習支援サポーター養成研修

- (日時) 平成29年7月22日(土) 午後2時～5時
 11月18日(土) 午後2時～5時
 (内容) 外国につながる子どもの背景・課題理解と学習支援の概要、登録面接
 (講師) 多文化活動連絡協議会代表
 (参加者) 7月22日(土) 5名、11月18日(土) 6名

イ 外国につながる子どもの学習支援サポーターブラッシュアップ講座

	日時	内容	講師	受講者
1	8月5日(土) 午前10時～ 午後0時10分	外国につながる子どもたちの現状と課題、学習支援の意義、「寄り添い」学習支援の大切さなど	多文化活動連絡協議会代表	8名
		日本語支援で教科学習へ、その教え方～高校受験に向けて準備するために	NPO 日本語・教科学習支援ネット	

2	8月5日(土) 午後1時20分～ 2時50分	書く力を育てていくための 支援方法 ～楽しく、意欲 的に書くために必要なこと ～	NPO 日本語・教科学習支援 ネット	8名
3	8月5日(土) 午後3時～4時 30分	日本語を第二言語とする子 どもたちがまなぶために必 要なこと ～算数・数学編	NPO 日本語・教科学習支援 ネット	8名
4	12月16日(土) 午前10時～ 午後0時10分	外国につながる子どもたち の現状と課題、学習支援の 意義、「寄り添い」学習支 援の大切さなど	多文化活動連絡協議会代表	12名
		日本語を第二言語とする子 どもたちがまなぶために必 要なこと ～算数・数学編	NPO 日本語・教科学習支援 ネット	
5	12月16日(土) 午後1時20分～ 2時50分	日本語支援で教科学習へ、 その教え方～高校受験に向 けて準備するために	NPO 日本語・教科学習支援 ネット代表	12名
6	12月16日(土) 午後3時～4時 30分	書く力を育てていくための 支援方法 ～楽しく、意欲 的に書くために必要なこと ～	NPO 日本語・教科学習支援 ネット	12名

ウ 外国につながるこどもの自立支援

(ア) 仕事理解

(日時) 平成29年7月15日(土) 午後2時～4時30分

(場所) 川崎市国際交流センター・団体活動ルーム

(内容) 仕事理解を深め業種の多様性を知る

外国につながる親子向け 日本で就くことができる職業を知ろう

(参加者) 12名

(イ) 職場体験

(a) バターチキンカレーとナンの作り方を見学&体験

(日時) 平成29年8月21日(月) 午前10時～11時30分

(場所) ネパール料理店

(内容) スパイスの説明、ナンの材料調合から釜で焼くまで、チキンカレーの作り方、
ナンとチキンカレーの試食

(参加者) 15名

(b) 音と映像の世界をサポートするホール・スタッフから話を聞いてみよう！

(日時) 平成29年8月21日(月) 午前11時30分～11時45分

(場所) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) 調整室のミキサーについて、イベント看板の取り付けについて、
ステージの昇降について、ライティングの調光について、可動式座席について

(参加者) 15名

(c) 図書資料室の仕事を知ろう！

(日時) 平成 29 年 8 月 21 日 (月) 午前 11 時 45 分～12 時

(場所) 川崎市国際交流センター 図書資料室

(内容) どのような資料があるか、図書資料室の本棚&コーナー見学、バックヤード(書庫)、本や新聞をしまっているところを見学、新聞スクラップを体験

(参加者) 14 名

(d) 困ったときの外国人相談窓口

(日時) 平成 29 年 8 月 21 日 (月) 午前 11 時 30 分～11 時 45 分

(場所) 川崎市国際交流センター 事務所他

(参加者) 13 名

エ 親子で非言語コミュニケーション

(日時) 平成 29 年 11 月 23 日 (木・祝) 午前 10 時～12 時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 自分の身体の中から来る動きをダンスとして表現し、新しい自分になったつもりで、恥ずかしがらずにトライ、チャレンジして、気持ちを外側に向け、喜びを感じる。

(参加者) 7 名

オ 支援者研修 在留資格について

(日時) 平成 29 年 11 月 23 日 (木・祝) 午後 2 時～5 時

(場所) 川崎市国際交流センター・団体活動ルーム

(講師) 弁護士

(内容) 外国籍の子どもの夢をはばむ在留資格

(参加者) 7 名

カ 外国につながる子どもの学習支援「宿題を一緒にしましょう」

4 月 30 日 (日)～3 月 25 日 (日) 延べ 49 回 参加者 203 名 支援者 352 名

キ 各種事業

(ア) 文化交流会

(第 1 回)

(日時) 平成 29 年 7 月 30 日 (日) 午前 10 時～午後 1 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター 料理室、第 4・5 会議室

(内容) パキスタン料理と南米料理をみんなで作って食べて楽しく交流
フィリピン紹介

(参加者) 30 名

(第 2 回)

(日時) 平成 29 年 11 月 12 日 (日) 午前 10 時～午後 1 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター・料理室、第 4・5 会議室

(内容) メキシコ料理と日本料理の芋煮汁に挑戦、紙芝居読み聞かせ、
図書資料室紹介と多文化図書について

(参加者) 30 名

(イ) 夏休み理科実験教室

(日時) 平成 29 年 8 月 20 日 (日) 午後 4 時～5 時

(場所) 川崎市国際交流センター・団体活動ルーム

(講師) アニメ理科実験教室主催者

(参加者) 11 名

(3) 生活にほんごサロン

生活にほんごサロンサポーター研修

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	8月10日(木) 午前10時～12時	川崎市の外国人相談について、窓口によせられている内容について	協会多文化共生課課長	21名
		川崎市の外国人市民施策とサポーターへの期待	協会交流事業課長	
2	8月11日(木) 午前10時～12時	「やさしい日本語」の基礎を学ぶ	聖心女子大学教授	20名
3	8月11日(木) 午後1時～3時	多文化共生の地域づくりのための日本語教室 ～つながるにほんご	神奈川県立国際言語文化アカデミー教授	20名
4	8月12日(土) 午前10時～12時	生活にほんごサロンの学習と支援の在り方について	(公財)日本語教育学会 人材育成コーディネーター	23名
5	8月12日(土) 午後1時～3時	外国人市民のために自分たちができることは何か	(公財)日本語教育学会 人材育成コーディネーター	23名

■※施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営 (JV)

ア 統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

イ 施設利用受付及び案内業務

(ア) 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

(イ) 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供した。

ウ 施設利用促進業務

(ア) 国際交流センターの正面玄関への誘導案内を多言語で街路灯に表示し、来館者の利便性を向上させた。

(イ) 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設の利用促進を図った。

(ウ) 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

- (a) 5月18日 インドネシア教育関係者、留学生計25名が茶室「木月庵」で抹茶体験
- (b) 6月15日 住吉小2年生83名 施設見学・質問インタビュー
- (c) 7月13日 住吉中1年生4名 施設見学・写真撮影・職業インタビュー
- (d) 9月14日 住吉小6年生66名 茶道体験
- (e) 9月22日 宮崎中1年生13名「総合学習」施設見学・質問、アンケート
- (f) 11月8日 井田小2年生6名 生活科「まち探検」施設見学・質問インタビュー
- (g) 11月14日 井田小2年生8名 仕事体験(落葉清掃)

- (h) 11月10日 下小田中小2年生10名 生活科「まち探検」施設写真撮影
- (i) 11月28日 下小田中小2年生10名 質問インタビュー
- (j) 2月22日 住吉小4年生6名「総合学習」施設のバリアフリー 質問インタビュー

エ 川崎市国際交流センター活用推進検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を2回開催した。

- (ア) 平成29年9月26日(火) 午後2時30分～3時45分

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

議事：指定管理者選定評価委員会の評価結果について
センターの活用及び今後の取組について

- (イ) 平成30年3月8日(木) 午前10時30分～午後0時6分

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

議事：平成29年度の取組結果

＜利用率向上の取組＞

- ・茶室 木月庵「ナイター寄席☆えいごで落語」
- ・料理室 利用者チェック表、調理器具掲示の見直し
- ・特別会議室 「特別な日の・特別なツアー」、「観光ボランティア通訳セミナー」
「井田共和会第2町会総会」他
- ・ギャラリー「外国人が見たニッポン～明治の日本人～展」

＜地域と連携した取組＞

- ・防災訓練の実施
- ・かわさきおもてなし講座～英語実践編～

利用者アンケート等について

オ 自動販売機、コピー機及びカラオケ機器（交流サロン）、AED（エントランスロビー）、エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室にはインターネットを無料で提供できるWi-Fiを設置することで、利用者へサービスを提供した。

カ レセプションルームに、インターネット環境を無料で提供できるWi-Fiを設置し、利用者へサービスを提供した。

キ 撤去された館内の公衆電話の代わりに、特殊簡易公衆電話（通称ピンク電話）を設置し、利用者の利便性を図った。

ク 外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

(日時) 平成30年2月16日(金) 午前10時14分～11時50分

(内容) 防災訓練

シェイクアウト訓練と避難訓練、中原消防署と中原消防団による消防訓練、119番通報、AED、三角巾の使い方、水消火器、起震車、web171災害用伝言板及び災害用伝言ダイヤル171の体験、地域と協力した漆黒の暗闇体験と災害用アルファ化米試食、災害用品の展示、やさしい日本語及び多言語による案内、多言語資料の配布、映像による自然災害の脅威紹介

(アンケート) やさしいの日本語と日本語でアンケートを行い、体験したもので役にたった企画や内容について、有事の際の参考としてまとめた。

ケ 利用者アンケートの実施

「イベント広場等屋外ベンチの設置場所の希望調査」とあわせ、屋外の安全面や利便性を調査し、

次年度以降の施設整備に反映させるため利用者アンケートを実施した。

(実施期間) 平成 30 年 2 月 18 日 (日) ~ 3 月 17 日 (土)

(回答数) 100 名

コ 図書・資料室管理業務

- (ア) 一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。
- (イ) 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。
- (ウ) 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を隔月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数 210 部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。
- (エ) 隔月毎にテーマを設けて図書の展示を行い、多くの入館者へ様々なジャンルの本の紹介をした。

サ 施設・設備の維持管理及び補修業務

- (ア) 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。
- (イ) 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。
- (ウ) 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。
- (エ) 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

シ 舞台及び AV 機器等維持管理業務

市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者に機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。

ス 施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

セ 駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。駐車場有料化に伴い、毎日の売上金回収、集計、駐車場利用者データ集計を実施した。

ソ 設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

タ 施設環境衛生管理業務

- (ア) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い快適な利用空間を提供した。
- (イ) 空気環境測定業務 年 6 回 (奇数月)
- (ウ) 飲料水水質検査 年 2 回 (2 月・8 月)
- (エ) 給湯水水質検査 年 2 回 (2 月・8 月)
- (オ) 害虫防除 年 12 回

(カ) レジオネラ症対策

空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施。冷却水水質検査年 2 回 6 月・8 月

チ 施設清掃業務

- (ア) 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。
- (イ) 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。
- (ウ) フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

ツ 植栽維持管理業務

- (ア) 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。
- (イ) イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。
- (ウ) 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

ア 施設の改修

- ・冷温水管改修工事
- ・協会事務所監視カメラモニター改修工事
- ・空調機加湿配管改修工事
- ・正面玄関自動扉整備工事
- ・真空遮断器整備工事
- ・防煙スクリーン改修工事
- ・温水器循環ポンプ整備工事
- ・B1F 排気ファン改修工事
- ・ホールポータブルミキサー更新
- ・ホール電動観覧席シーケンサーバッテリー更新

イ 施設的环境整備等

- ・外国人窓口及び受付、事務室天井灯の LED 化
- ・「ふれあいネット」配線整備
- ・第 7 会議室の畳表替え及び障子の張り替え
- ・茶室の畳表替え及び障子の張り替え（ワーロン紙使用）、建具修繕、庭園整備
- ・図書・資料室前ガラス面への遮熱フィルム貼り
- ・駐車場有料化に伴う看板整備
- ・レクリエーションルームのカーテン更新
- ・多目的広場のベンチ 4 台更新
- ・イベント広場のベンチ 2 台購入
- ・屋外庭園灯に正面入口への多言語案内シールを設置
- ・災害時優先電話の導入、設置

(3) 市民共同おひさま発電所

ア 経過等

平成 20 年 8 月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金、グリーン電力基金からの助成金及び「ap bank」からの融資を受け自ら設置し、川崎市に寄付したものである。川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、センターを訪れる外国人をはじめ多くの人達に、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続的に発信してきた。「川崎地域エネルギー市民協議会」が平成 28 年 1 月に設立したが、「市民共同おひさま発電所」は協議会の主要メンバーである。

平成 30 年 2 月 15 日に川崎市まちづくり局が国際交流センターの太陽光発電設備を調査した。

イ 設備の概要

太陽光発電（合計出力） 6.25KW

（内訳）国際交流センター陸屋根設置分 4.32KW、プロムナード上部設置部分 1.93KW

事業費 約 850 万円（内訳）寄付金 150 万円、グリーン電力基金 700 万円

(4) 利用実績

ア 平成 29 年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4 月	18,980 人
5 月	18,804 人
6 月	18,507 人
7 月	33,632 人
8 月	14,124 人
9 月	16,918 人
10 月	30,238 人
11 月	19,915 人
12 月	17,206 人
1 月	15,608 人
2 月	18,375 人
3 月	16,732 人
合 計	239,039 人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計

イ 川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：344 日）

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール(264)	780	75.6	特別会議室(28)	76	7.4
レセプションルーム	621	60.2	特別応接室(8)	136	13.2
会議室(第1)(36)	520	50.4	料理室(24)	201	19.5
会議室(第2)(24)	720	69.8	交流サロン(30)	851	82.5
会議室(第3)(24)	647	62.7	茶室	361	35.0
会議室(第4)(30)	500	48.4	レクリエーションルーム	966	93.6
会議室(第5)(30)	529	51.3			
会議室(第6)(18)	779	75.5			
会議室(第7和室)(10)	702	68.0			

(注) 1 ()は定員

2 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3 利用率は、小数点以下 2 桁を四捨五入